

日本地球惑星科学連合 2009年度 第1回環境災害対応委員会議事録

日時: 2009年5月20日 12:30 ~ 13:30

場所: 幕張メッセ国際会議場ファンクションルームA

出席者: 松本淳(委員長)、須貝(副委員長・地理)、林(水文科学)、後藤(堆積)、西村(雪氷)、近藤(リモセン)、陶野(第四紀)、宇根(国際地図)、宮越(地熱)、江守(気象)、小荒井(地質)、大野(応用地質)、目代(地理情報システム)、石原(気象)、村山(東北地理)、田力(第四紀)、横山(地質)、久田(地震)、真木(水文水資源)、中筋(応用地質)、中村(火山)、小田(電磁気惑星圏)、吾妻(活断層)、奥村(地理科学、後藤代理)

配布資料: 環境災害対応委員名簿、議事案および委員会規則、連合組織図、日本第四紀学会シンポジウム地球温暖化と環境防災ポスター、水文水資源学会での活動の紹介、地球電磁気・地球惑星圏学会パンフレット

議題:

- ・新参加委員自己紹介
- ・各学協会での昨年度の活動紹介
- ・今年度および将来の活動方針
- ・ その他

議事:

- ・松本委員長による発足の挨拶に続き、委員の自己紹介がなされた
- ・松本委員長より、委員会設立の経緯、ならびに、連合における委員会の位置づけ、委員会規則について説明がなされた(配布資料)
- ・各学協会での活動の紹介がなされた。
- ・今後の委員会活動方針について、各学協会の活動が活発であり、活動内容も多岐にわたることが解ったので、情報交換のために5月末までに、各学協会の活動を松本委員長へメールで報告することになった。また、以下の方針が委員長より提案され、了承された。
- ・各学協会の環境災害対応関連活動をJGLに連載する
- ・HPを立ち上げる
- ・大会において、複数の学協会共同セッションを立ち上げる
- ・しかるべき時期に第2回委員会を開催し、今後の活動方針に関する議論を深める

質疑:

- Q. 何十年來災害対応活動を行っている災害情報学会等との関係をどう考えるか？
具体的に、学術会議や科技厅との関係、予算を取りに行くか？
- A. 連合として力を高める方向で、今後検討していきたい。他に連合として活動すべき事があるか、各学協会へフィードバックしていただき、問題提起・提言をしてほしい。